

2021年3月期 第1四半期 決算説明補足資料

エンカレッジ・テクノロジー株式会社
(証券コード：3682)
2020年8月11日



目次

1. 2021年3月期 第1四半期 決算概要

2. 2021年3月期 業績予想

3. 2021年3月期 重点施策

2021年3月期 第1四半期 決算概要



2021年3月期 第1四半期 連結決算概要

(単位：百万円)

	2020年3月期 第1四半期	2021年3月期 第1四半期	増減額	増減率	主要な変動要因
売上高	501	413	-88	-17.6%	次頁詳細
売上原価	205	147	-58	-28.3%	全体コスト減少
売上総利益	296	266	-29	-10.1%	-
販管費	267	252	-14	-5.6%	研究開発費増加 その他は減少
営業利益	29	14	-15	-51.5%	-
経常利益	29	12	-16	-55.8%	-
当期純利益	19	8	-11	-56.4%	-

売上・利益ともに前期比で減少。売上は、新型コロナウイルスでの営業活動制限およびアクロテック事業休止による。利益は、原価および販管費減少により影響は限定的。

売上構成の推移

(単位：百万円)

構成項目	2020年3月期 第1四半期	2021年3月期 第1四半期	増減額	増減率	主要な変動要因
ライセンス	100	77	-23	-23.2%	既存案件は予定通り進捗 新規商談はコロナ影響
保守サービス	279	284	5	1.8%	順調に推移
クラウドサービス	18	20	2	13.5%	順調に推移
コンサルティングサービス	51	14	-37	-72.7%	ライセンス減少のため
SIO常駐サービス	7	5	-1	-22.4%	予定通り
その他	14	11	-3	-22.9%	予定通り
パッケージソフト ウェア事業計	472	413	-58	-12.4%	-
システム開発サービス 事業計	29	-	-29	-%	事業休止のため
売上高合計	501	413	-88	-17.6%	-

売上原価と販売費および一般管理費の状況

<u>原価</u>	58百万円	減少
<u>販管費</u>	14百万円	減少 (前年同期比)

主な増減内訳

研究開発費の増加	30百万円
支払手数料（サービス）の増加	5百万円
人件費の減少	△29百万円
外注費の減少	△14百万円
教育費・採用費の減少	△12百万円
福利厚生費の減少	△5百万円
通勤費・交通費の減少	△3百万円
広告宣伝費の減少	△1百万円
システム開発事業休止等増減	△43百万円

貸借対照表概況

(単位：百万円)

	2020年3月期	2021年3月期 第1四半期	増減額
流動資産	3,515	3,604	89
固定資産	362	364	2
総資産	3,877	3,968	91
負債	624	901	277
純資産	3,253	3,066	-186

主要因は、配当123百万円、自己株式79百万円取得によるもの

その他トピックス

ニュースリリース

- 4月10日 サーバーセキュリティ対策をオールインワンで実現する
ESS AdminGateの最新バージョンを4月10日に販売開始
- 5月21日 サーバーワークスとエンカレッジ・テクノロジーが協業
リモートワーク証跡管理サービスを提供

WEBでの問合せ増加

ESS REC NEAO/ESS AdminGateを中心に前年同期比で問合せが倍増

営業体制の強化

キャリア採用 2名入社（8/1付でさらに1名入社）

2021年3月期 業績予想



2021年3月期 業績予想

(単位：百万円)

	2020年3月期 実績	2021年3月期 予想	増減額	増減率	主要な変動要因
売上高	1,928	2,000	72	3.7%	次頁詳細
売上原価	745	710	-35	-4.7%	全体コスト減少
売上総利益	1,183	1,290	107	9.0%	-
販管費	1,020	1,090	70	6.9%	研究開発費増加 その他は減少
営業利益	162	200	38	23.5%	-
経常利益	172	200	28	16.3%	-
当期純利益	83	150	67	80.7%	-

上記業績予想の算定においては、新型コロナウイルス感染症が再度拡大することによる経済活動の停滞は想定しておりません。

売上構成の推移

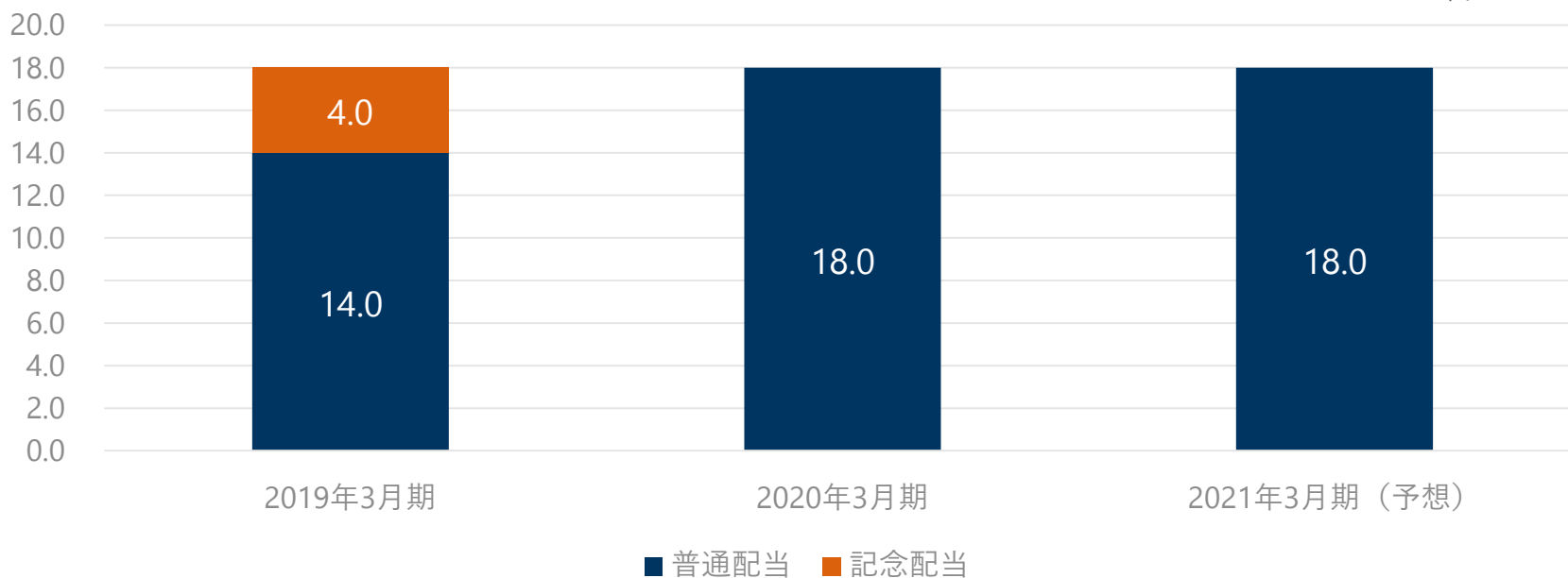
(単位：百万円)

構成項目	2020年3月期 実績	2021年3月期 予想	増減額	増減率
ライセンス	416	500	84	20.2%
保守サービス	1,116	1,140	24	2.2%
クラウドサービス	76	95	19	25%
コンサルティングサービス	177	160	-17	-9.6%
SIO常駐サービス	33	40	7	21.2%
その他	66	65	-1	-1.5%
パッケージソフト ウェア事業計	1,885	2,000	115	6.1%
システム開発サービス 事業計	43	-	-43	-%
売上高合計	1,928	2,000	72	3.7%

2021年3月期 配当予想

- 配当性向は33.3%以上とし、安定的かつ継続的な利益配分の方針
- 2021年3月期は1株当たり18円を予想（配当性向80.8%）

（単位：円）



2021年3月期 重点施策



2021年3月期 重点施策

新たな価値創造

ストックビジネス強化

業務効率化による働き方改革の推進

* 5/27付2020年3月期 決算説明補足資料からの変更はありません。

新たな価値創造

働き方改革市場

テレワーク市場／RPA市場における生産性向上、ROBOTの可視化ならびにセキュリティ強化を実現するソリューションの提供【TOPIX 次ページ】

特権ID管理市場

新SIOの製品化による既存製品の機能強化、製品差別化

システム運用市場

業務自動化ソリューションの創出に向けた研究開発への着手

【TOPIX】働き方改革市場

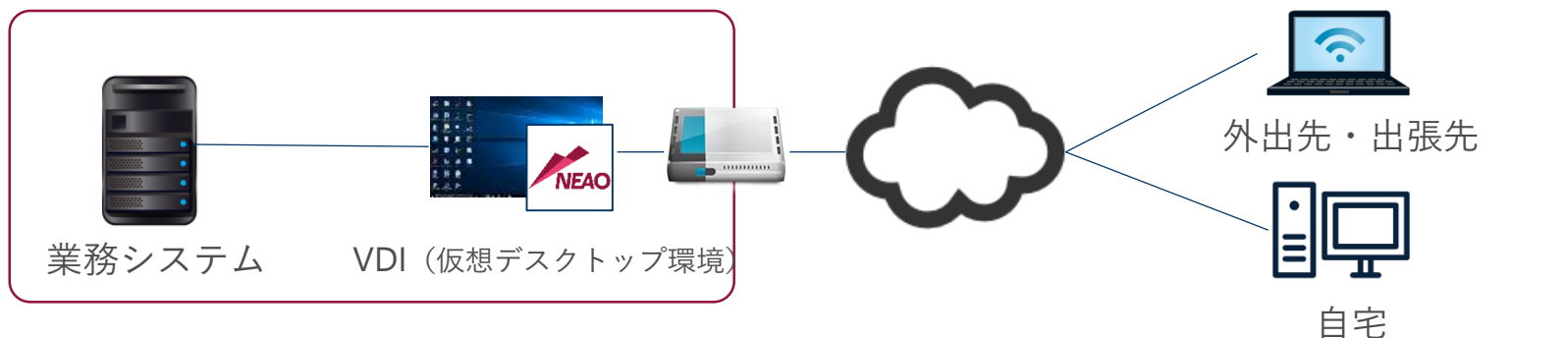
累計導入社数 500社を誇る市場シェアNo.1 証跡監査ツール「ESS REC」の技術をもとに働き方改革を支援するツールとして「ESS REC NEAO」を新たに発表

テレワーク

業務内容の把握

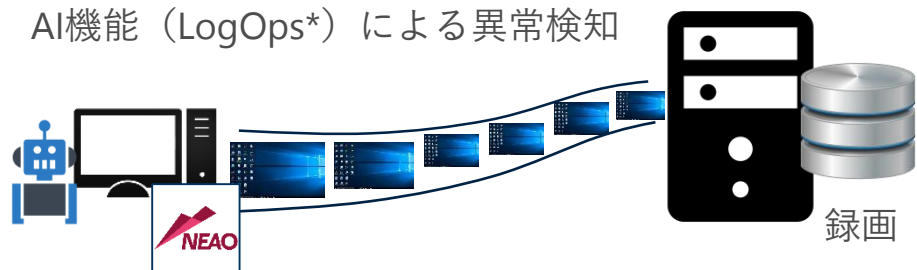
就業時間の測定

セキュリティ確保



RPA

AI機能 (LogOps*) による異常検知



アラート

操作記録を蓄積

異常を検知 (アラート)

レポート出力

*LogOps : 研究開発中のプロジェクトです

ストックビジネス強化

新しいクラウドサービスへ拡大

サブスクリプションモデルの提供により、新たなジャンルの事業者と協業を開始

DaaSベンダーなどテレワーク向けサービスの提供事業者

RPAソリューションを提供する事業者

保守サポートサービスの進化

顧客の不満解消（カスタマーリレーション）から顧客が感動する期待以上のサービスを提供する**カスタマーディライト**へ挑戦

業務効率化による働き方改革の推進

マネジメント強化

次世代リーダーの育成および管理者層の自己・組織管理力向上
年齢や勤続年数に関わらず自律的に行動する人材の育成

適応力強化

環境の変化へ柔軟に対応できる制度、仕組みの構築

- 人事評価制度
- テレワーク環境
- システム、インフラ環境整備
- RPA導入による効率化

新型コロナウイルス感染拡大防止と働き方改革

当社では、お客様をはじめステークホルダー、社員とその家族の安全確保・感染予防と感染拡大の防止に継続的につとめております。

新型コロナウイルス感染拡大防止

FY20 1Q~

- 【社員の安全確保】
 - ✓ 毎日のバイタルチェック
 - ✓ 衛生備品、感染防止環境作り

働き方改革

新常態

- 【接触機会の低減】
 - ✓ オンラインの活用（Web会議、Web面接）
- 【3密回避】
 - ✓ 在宅勤務
 - ✓ 時差通勤

FY20 4Q~

- ✓ オフィス面積見直し

FY21 1Q~

- ✓ 就労4日制度

8月11日現在まで感染例はありません。
開発工程の大幅遅延はありません。

将来見通しに関する注意事項

本資料に記載されている計画や見通し、戦略などは本書面の作成時点において取得可能な情報に基づく将来の業績に関する見通しであり、これらにはリスクや不確実性が内在しております。かかるリスクおよび不確実性により、実際の業績等はこれらの見通しや予想とは異なる結果となる可能性があります。

当社が事業環境の説明を行う上で、参考となると考える情報を掲載しております。掲載データについては、調査方法や調査時期により結果が異なる可能性があります。

本資料に含まれる当社以外に関する情報は公開情報等から引用したものであり、かかる情報の正確性、適切性等について当社は何らの検証も行っておらず、またこれを保証するものではありません。